

蕪 工 ニュース

県立蕪崎工業高等学校 総務部
第 100 号 2013.01.25

プログラムコンテスト上位入賞
教材教具引渡し・応援実技発表会
第 1 種電気工事士合格者
全日本選手権 3 位・スキー部の活躍

プログラムコンテストで上位入賞

第 29 回山梨県工業系高校プログラムコンテストに情報技術科から 3 部門に出場し「プログラミング部門」で 3-1 丸茂徳章, 3-4 宮原悠太, 3-6 山口 翔らの作品「ExcelVBA を使った GoogleMaps の活用」が準優勝。「自由研究部門」に 3-1 小尾剛史の「情報化社会に生き残る為の脳の活性化対策実践」が優勝。「マルチメディア部門」に 3-2 河西小雪, 3-5 山本 舞の「ActionScript を使った HP 作成～更新率の向上～」が優勝という素晴らしい結果を残す事が出来ました。「GoogleMaps の活用」は汎用性の高いシステムで、校内だけではなく各種行政機関でも活用出来るシステムとなっています。



「脳の活性化対策実践」の中身はパソコン版「ヌメロン」で、インターネット上で楽しめる数字による「戦略型推理ゲーム」であり、脳の鍛錬に活用出来る作品となっています。「ActionScript を使った HP 作成」は動的ホームページを作成し、更に更新処理を簡単に行えるなど、これも汎用性の高い作品となっています。3 作品とも審査員の高評価を得る事になり、この様な結果を残せました。

教材教具引渡し：あけぼの支援学校

蕪崎工高の 9 人が 1 月 16 日、あけぼの支援学校を訪れ、まが玉机など手作りの教具を贈った。あけぼの支援学校への教具贈呈は 10 年以上続く蕪崎工高の恒例。今回製作を担当したシステム工学科 2 名と電気科 7 名は課題研究の木工班に所属し、教材・教具のイメージをつかむために昨年 7 月、支援学校の生徒と交流した。同日の引き渡し式では、9 名が、支援学校の代表として出席した児童・生徒にキーボード台やまが玉机やパズルなどを手渡した。電気科の梶原磨波さんが「先輩方が製作した物が大切に使われているのを見て、自分が製作した机も大切に使ってくれると思い、うれしくなった」と話していた。



第 1 種電気工事士試験合格者

電気科では第 1 種電気工事士の資格取得に 2 年生 12 名、3 年生 4 名が挑戦しました。筆記試験は平成 24 年 10 月 7 日（日）に明治大学で実施され 16 名中 11 名が合格しました。また、実技試験では 12 月 9 日（日）に東京都市大学で実施され 3 年生 3 名を含む 10 名が合格することができました。



合格者が 2 桁と例年にない合格率となりました。合格した 3 年生の中には就職先で必要になる生徒もいてかなりのプレッシャーがあったのではないかと思います。勉学でも仕事でも 1 つの目標を持ち、一生懸命に取り組み、それに向かって努力をすれば必ず良い結果が生まれます。10 名のさらなる向上を期待します。

レスリング全日本選手権で見事3位

今回の天皇杯全日本選手権大会は、出場資格が厳しく（16名枠）社会人や大学の各大会で上位3位以内の選手と高校生は全国1位のみが参加を許され、今年の日本1を決め、次年度の世界選手権大会出場の候補を選考する重要な大会です。文田健一郎は1回戦、前年度の学生選手権1位であり今回第4シードの選手と対戦し第1ピリオドを先攻されながらも第2・第3ピリオドを取り返し、高校日本一が大学日本一に勝利する快挙を収めました。2回戦では前年度社会人オープン選手権1位の選手と対戦し1回戦同様に第1ピリオドを先攻されながらも第2・第3ピリオドを取り返しまたも逆転勝利を収めました。続く3回戦の準決勝では春の全日本選抜選手権大会1位で今回第1シードの社会人選手と対戦し第1・第2ピリオドともパワーで場外に押し出され惜しくも判定負けでした。初出場の今回の全日本選手権大会は、社会人や大学生のトップ選手と戦いどこまで自分の技術が通用するのか挑戦者としての出場でした。戦い終わってみてパワー不足やスタンドポジションでの詰めの甘さなどいろいろ課題は見つかりましたが、今大会のグレコ・フリー全階級で唯一高校生として表彰台に上れたことは大きな自信となりました。



(資料提供：山梨日日新聞社)

冬季高校総体山岳・スキー部優勝



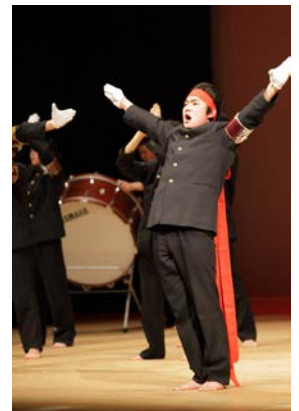
1月7日～9日に長野県霧ヶ峰クロスカントリーコースにおいて、第65回山梨県高校総体冬季大会スキー競技会が開催されました。

(アルペン山スキー場) 本校から6名の選手が出場しました。フリー競技では2年生の芳賀大輝君が初優勝しました。クラシカル競技では大柴結人君が有終の美を飾り、またリレーでも優勝することができクロスカントリー全種目のタイトルを獲得することができました。

4連覇のかかった学校対抗でも何とか優勝することができ、全員が関東大会、全国大会の出場権を獲得することができました。幸先よいスタートが切れたと思います。ありがとうございました。

山梨県高等学校応援団発表会開催

12月22日に第5回山梨県高等学校応援団発表会がありました。日頃、応援団は裏方として活動しており自分達が主役の舞台に立てることは本当に嬉しく思いました。同時に多くの観客の前で応援発表をすることはとても緊張しました。本番までの毎日遅くまで練習し、当日は練習の成果を発揮することができました。しかし、私たちはまだまだ力不足な点がいくつもあります。今回の発表会に参加した他の応援団から学ぶべき事がたくさんありました。そのことを今後の応援活動に生かしていきます。そして、今年は昨年よりもレベルの高い応援が出来るように韮崎工業高校応援団の誇りを持って応援活動に励みます。



今回が記念すべき100号となりました

URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>
e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp